

◆◆◆ 気象庁、「気候変動監視レポート 2008」を公表

気象庁は、6月18日に「気候変動監視レポート 2008」を公表しました。本レポートは、気象庁から平成8年以降毎年発表されているものです。「気候変動監視レポート 2008」の構成は、

トピックス 平成20年夏の西日本を中心とした高温、少雨について、
第1部 気候（世界及び日本の気候に関する監視結果）、
第2部 海洋（世界及び日本近海の海面水温や海水、海洋汚染等に関する監視結果）、
第3部 環境（世界及び日本の温室効果ガスやオゾン、黄砂等に関する監視結果）、
話題 異常気象リスクマップについて、二酸化炭素分布情報の公開開始、

となっています。本レポートのなかでは、異常気象に対する適応策の検討への活用が期待される「異常気象リスクマップ」、過去から現在までの世界の二酸化炭素の濃度変動や分布を解析した「二酸化炭素分布情報」についても紹介されています。また、このレポートには、カラー版のグラフや図表が数多く掲載されており、資料集としての活用も見込まれるものになっています。

「気候変動監視レポート 2008」は、その全文が気象庁のホームページに掲載されています。
(<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/monitor/index.html>)